

「全国企業短期経済観測調査」(短観) 調査表-日本銀行

・本調査は「統計法」(平成19年法律第53号)に基づいて、日本銀行が行う統計調査です。
 ・同法第3条第4項の規定により、ご回答内容については、その秘密を保護します。
 ・同法第40条第1項の規定により、ご回答内容については、同法に特別の定めがある場合を除いて、統計調査の目的(全国の企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資すること)以外に使用することはありません。

調査回	調査年	調査月
(1) ~ (4)	(5) (6)	
168	2016	3

企業番号	業種番号	企区	店	規模	母	規	附層
(8) ~ (13)			()				

(CPの発行環境)
 資本金10億円以上の大企業のみご回答下さい。
 ●大企業(「規模」欄に「1」と記載されている先)のうち、過去2年間にCP残高がある場合、または、現在CP発行を検討している場合は、最近のご判断を1・2・3のうちから1つ選び、その番号を回答欄にご記入ください。
 ●上記以外の場合は、「9」(該当なし)をご記入ください。

1. 判断項目

調査項目	(1) 貴社の業況	(2) 貴社の国内での製品・サービスの供給	(3) 貴社の海外での製品・サービスの供給	(4) 貴社の在庫水準	(5) 貴社の生産・流通在庫水準	(6) 貴社の生産・営業用設備	(7) 貴社の雇用人員	(8) 貴社の資金繰り	(9) 金融機関の貸出態度	(10) ※借入金利水準	(11) CPの発行環境	(12) ※貴社の販売価格	(13) ※貴社の仕入価格
回答区分	1. 良い 2. ほぼ良い 3. 悪い	1. 需要超過 2. ほぼ均衡 3. 供給超過	1. 需要超過 2. ほぼ均衡 3. 供給超過	1. 過剰 2. 適正 3. 不足	1. 過剰 2. 適正 3. 不足	1. 過剰 2. 適正 3. 不足	1. 過剰 2. 適正 3. 不足	1. 楽である 2. さほど良くない 3. 厳しい	1. 緩い 2. さほど厳しくない 3. 厳しい	1. 上昇 2. 変わらない 3. 低下	1. 楽である 2. さほど厳しくない 3. 厳しい	1. 上昇 2. 落ち 3. 下落	1. 上昇 2. 落ち 3. 下落
回答欄	(19) (21) (23) (25) (27) (29) (31) (33) (35) (37) (39) (41) (43) (45) (47) (49) (51) (53) (55) (57) (59) (61) (63) (65) (67) (69)												
回答欄	600												

各項目の最近(調査表記入時点)と先行き(次回調査時期(3か月後)のご判断を、1・2・3のうちから1つ選び、その番号を回答欄にご記入ください。なお、季節変動がある場合は季節変動要因を除いた実勢ベースでご判断ください(該当がない場合は「9」をご記入ください)。
 ※印を付した項目については、「最近」欄には3か月前と比べた調査表記入時点の変化、また「先行き」欄には今後3か月までの間に、どのように変化するかについてのご判断をご記入ください。

●太枠内は前回回答通りで修正がない場合も、お手数ですがご記入をお願い致します。
 ●2015年度上期については実績、2015年度下期および2016年度については概数(現時点での貴社内の目標や感念を大まかに計数化したもの等)でも結構です。お手数ですが太枠内の全ての欄へのご記入をお願い致します。
 ●金額については、百万円単位(単位未満の場合は四捨五入)でご記入ください。

●消費税など制度の変更の影響を除いてご回答ください。

2. 年度計画

期 間 調査項目	コード 番 号	2014 年度		2015 年度				2016 年度				日本銀行記入				
		上期実績(4～9月)		下期実績(10～3月)		上期実績(4～9月)		下期実績見込み(10～3月)		上期予測(4～9月)			下期予測(10～3月)			
		15	17	19	21	23	25	27	29	31	33		35	37		
												</				

4. 新卒者採用状況 (今回は回答不要)

貴社のご住所、ご担当部署、ご担当者、電話番号等に変更があった場合には、同封の「ご住所、ご担当者変更の通知用FAX用紙」をご利用下さい。

秘

貴社控

(企業番号)

様

3. 物価見通し

(1) 貴社の主要製商品・主要サービスの販売価格の見通し (現在の水準と比べた変化)	
貴社の主要製商品の国内向け販売価格または主要サービスの国内向け提供価格に関して、現在の水準と比べた1年後、3年後、5年後の価格の見通しに最も近いものを、以下の選択肢 (1~10) の中から選んで太枠内にご記入ください。	
時 点	コード 15 ~ 17
1年後	011
3年後	012
5年後	014
1. 現在の水準と比べ、+20%程度以上 (+17.5%以上) 2. 現在の水準と比べ、+15%程度 (+12.5%~+17.4%) 3. 現在の水準と比べ、+10%程度 (+7.5%~+12.4%) 4. 現在の水準と比べ、+5%程度 (+2.5%~+7.4%) 5. 現在の水準と比べ、0%程度 (-2.5%~+2.4%) 6. 現在の水準と比べ、-5%程度 (-7.5%~-2.6%) 7. 現在の水準と比べ、-10%程度 (-12.5%~-7.6%) 8. 現在の水準と比べ、-15%程度 (-17.5%~-12.6%) 9. 現在の水準と比べ、-20%程度以下 (-17.6%以下) 10. 分からない	
(2) 物価全般の見通し (前年比: それぞれの時点の1年前と比べた変化)	
物価全般(消費者物価指数をイメージしてください)の前年比に関して、1年後、3年後、5年後はそれぞれ何%になると考えますか。貴社のイメージに最も近いものを、以下の選択肢 (1~10) の中から選んで太枠内にご記入ください。なお、「イメージを持っていない」場合には、該当する理由を選択肢 (11~13) の中から選んで太枠内にご記入ください。	
時 点	コード 15 ~ 17
1年後 (前年比)	016
3年後 (前年比)	017
5年後 (前年比)	018
1. 前年比 +6%程度以上 (+5.5%以上) 2. 前年比 +5%程度 (+4.5%~+5.4%) 3. 前年比 +4%程度 (+3.5%~+4.4%) 4. 前年比 +3%程度 (+2.5%~+3.4%) 5. 前年比 +2%程度 (+1.5%~+2.4%) 6. 前年比 +1%程度 (+0.5%~+1.4%) 7. 前年比 0%程度 (-0.5%~+0.4%) 8. 前年比 -1%程度 (-1.5%~-0.6%) 9. 前年比 -2%程度 (-2.5%~-1.6%) 10. 前年比 -3%程度以下 (-2.6%以下) ※イメージをお持ちでない場合 11. 先行きについては不確実性が大きいから 12. 変動したとしても経営にほとんど影響がないため意識していないから 13. その他	

参考情報

変更がある場合のみご記入ください。

コード	月	コード	期別	雇用者数	コード	15 ~ 17	31 ~ 33	日本銀行記入欄
決算期	15 ~ 17	19 ~ 21	23 ~ 25	27 ~ 29	31 ~ 33	35 ~ 37	39 ~ 41	ST
910								820
主要製商品名または主要事業名								019

(備考)
 ご回答計数について大きな変動等がありましたら、その背景(需給環境の急激な変化、合併、分社、持株会社の設立、経理方法の変更など)についてお教えください。なお、貴社の年度計画の対象時期が記載と異なる場合も本欄にご記入ください。

(システム入力欄)

(審査店)

(企業番号)

ご協力ありがとうございました。

<本表は貴社控>

審査店 業種 印字順序 印字連番